

記入例(該当・増)

健康保険 被扶養者(異動)届

常務理事	事務長	業務課長		担当者

事業所記号	1 0 1	令和 8 年 4 月 1 日 提出	受付年月日
事業所所在地	届書記入の個人番号に誤りがないことを確認しました。 〒 020 - 0122 盛岡市〇〇丁目〇〇-〇〇		
事業所名称	株式会社 健保自動車		
事業主氏名	代表取締役社長 健保 良一		
電話番号	〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇		
社会保険労務士記入欄			

被保険者番号	5	生年月日	昭・平・令 5 9 1 0 1 0	性別	男・女 女	標準報酬月額	300	千円	年収	4,800,000	円
氏名	(フリガナ) ケンボ	(氏) 健保	(名) イチロウ	取得年月日	昭・平・令 2 2 0 4 0 1	住所	〒 花巻市〇〇町〇〇-〇〇				

被扶養者になった場合は「該当」、被扶養者でなくなった場合は「非該当」、氏名や住所などの変更の場合は「変更」を○で囲んでください。

被扶養者欄 1	氏名	(フリガナ) ケンボ	(氏) 健保	(名) ハナコ	個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2	生年月日	昭・平・令 6 2 0 3 2 6	性別	男・女 女	続柄	妻
	住所	〒 〇		1.同居	海外居住者又は海外から国内に入転した場合は右欄を記入してください。	海外特例要件	理由	1.留学 3.特定活動 5.その他() 2.同行家族 4.海外婚姻等	理由	1.国内転入(令和 年 月 日) 2.その他()		
	該当	被扶養者になった日	令和 〇 8 0 4 0 1	職業	1.無職 4.小・中・高学生以下 2.パート 5.大学・短大・専門学校生 3.年金受給者 6.その他()	年収	500,000	円	理由	1.出生 4.同居 2.離職 5.その他() 3.収入減		
	非該当(変更)	被扶養者でなくなった日	令和	理由	1.死亡 4.後期高齢者 2.就職 5.その他() 3.収入増加	備考			資格確認書発行要否	<input type="checkbox"/> 発行が必要		

被扶養者欄 2	氏名	(フリガナ) ケンボ	(氏) 健保	(名) シロウ	個人番号	2 1 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1	生年月日	昭・平・令 2 5 0 5 0 5	性別	男・女 男	続柄	長男
	住所	〒 〇		1.同居	海外居住者又は海外から国内に入転した場合は右欄を記入してください。	海外特例要件	理由	1.留学 3.特定活動 5.その他() 2.同行家族 4.海外婚姻等	理由	1.国内転入(令和 年 月 日) 2.その他()		
	該当	被扶養者になった日	令和 〇 8 0 4 0 1	職業	1.無職 4.小・中・高学生以下 2.パート 5.大学・短大・専門学校生 3.年金受給者 6.その他()	年収	0	円	理由	1.出生 4.同居 2.離職 5.その他() 3.収入減		
	非該当(変更)	被扶養者でなくなった日	令和	理由	1.死亡 4.後期高齢者 2.就職 5.その他() 3.収入増加	備考			資格確認書発行要否	<input checked="" type="checkbox"/> 発行が必要		

被扶養者欄 3	氏名	(フリガナ)	(氏)	(名)	個人番号		生年月日	昭・平・令	性別	男・女	続柄	
	住所	〒 〇		1.同居	海外居住者又は海外から国内に入転した場合は右欄を記入してください。	海外特例要件	理由	1.留学 3.特定活動 5.その他() 2.同行家族 4.海外婚姻等	理由	1.国内転入(令和 年 月 日) 2.その他()		
	該当	被扶養者になった日	令和	職業	1.無職 4.小・中・高学生以下 2.パート 5.大学・短大・専門学校生 3.年金受給者 6.その他()	年収		円	理由	1.出生 4.同居 2.離職 5.その他() 3.収入減		
	非該当(変更)	被扶養者でなくなった日	令和	理由	1.死亡 4.後期高齢者 2.就職 5.その他() 3.収入増加	備考			資格確認書発行要否	<input type="checkbox"/> 発行が必要		

資格確認書発行が「必要」の場合は資格確認書(再)交付申請書を添付してください

被保険者の配偶者が被扶養者ではないとき(例:夫婦共働きの場合)は記入してください。	配偶者の年収見込額	500,000	円
---	-----------	---------	---

配偶者以外を被扶養者とする場合で、被保険者の配偶者が被扶養者でないときは配偶者の年間収入見込額をご記入ください。

認定対象者の収入状況(被扶養者認定対象者記入)	・給与収入のみ <input type="checkbox"/>
-------------------------	----------------------------------

扶養に関する申立書(添付書類の内容について補足する事項がある場合に記入してください)

被扶養者の収入が給与収入のみの場合は、「給与収入のみ」にチェックをしてください。
--

※被扶養者の「該当」と「非該当(変更)」は同時に提出できません。「該当」、「非該当」、「変更」はそれぞれ別の用紙で提出してください。 岩手県自動車販売健康保険組合

○被保険者欄

- ・被保険者番号 : 資格取得時に払い出された被保険者整理番号をご記入ください。
- ・氏名 : 氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。
- ・生年月日 : 年号は該当するものを○で囲んでください。
- ・性別 : 該当するものを○で囲んでください。
- ・標準報酬月額 : 被保険者の申請時の標準報酬月額をご記入ください。
- ・年収 : 被保険者の今後1年間の年間収入見込額をご記入ください。
- ・住所 : 住民票の住所をご記入ください。

○被扶養者欄

- ・氏名 : 氏名は住民票に登録されているものと同じ氏名を記入してください。
- ・続柄 : 被保険者との続柄を「夫」、「妻」、「長男」、「長女」、「父」、「母」と記入してください。
- ・個人番号 : 本人確認を行ったうえで、個人番号をご記入ください。
- ・住所 : 被保険者と同居または別居のいずれかを○で囲み、同居の場合は住所記入は不要です。別居の場合は、住所欄に住民票の住所をご記入ください。
なお、海外居住者については、国内における協力者住所(親族、被保険者の勤務先住所等)を方書きも含めてご記入の上、「備考」欄に海外居住先の住所及び国内協力者が親族の場合は氏名及び続柄をご記入ください。
- ・被扶養者になった日 : 被保険者の健康保険加入と同時に提出する場合は「取得年月日」と同日、それ以外の場合は出生年月日等の実際に被扶養者になった日をご記入ください。
- ・年収 : 今後1年間の年間収入見込額をご記入ください。収入には、非課税対象のもの(障害・遺族年金、失業給付等)も含まれます。
非課税対象の収入がある場合は、受取金額が確認できる書類のコピーを添付の上、「備考」欄に具体的な内容をご記入ください。
- ・理由 : 被扶養者となった理由を○で囲んでください。ただし、『被保険者資格取得届』と同時に提出する場合は記入不要です。
- ・被扶養者でなくなった日 : 死亡による場合は死亡日の翌日、それ以外の場合は非該当になった当日の日付をご記入ください。
- ・海外特例要件 : 海外特例要件該当・非該当のいずれかを○で囲み、理由をご記入ください。海外特例要件非該当で国内転入の場合は転入した日をご記入ください。
- ・備考 : 被扶養者情報に変更がある場合は、変更の内容とその理由をご記入ください。
- ・配偶者の年収見込額 : 配偶者以外を被扶養者とする場合で、被保険者の配偶者が被扶養者でないときは配偶者の年間収入見込額をご記入ください。
これは、配偶者以外の方について、被保険者と配偶者のどちらの被扶養者に認定するのが適正なのかを確認するためです。
- ・資格確認書の発行要否 : 「発行が必要」にチェックを入れ、資格確認書(再)交付申請書を添付してください。

- ・添付書類 : 新規で加入申請 戸籍謄本(原本)
- ※例にある必要書類は、全ての書類を提出してください。 : 大学、短大、専門学校等の学生 学生証の写 又は 在学証明書
- : 満16歳以上の子、妻(夫)(学生を除く) 所得証明書 又は 源泉徴収票
- : アルバイト、パート、勤務先がある者 労働条件通知書 又は 勤務先の就労証明書
- : 仕事を退職 離職票①②(写)、源泉徴収票、喪失証明書(退職日のわかるもの)
- : 年金を受給 直近の年金通知の写
- : 無職・無収入である者(学生は除く) 扶養証明書
- : その他、健康保険組合が必要と認めた書類

※ 別居の場合は、振込先、仕送り金額がわかる通帳の写 又は 振込等の状況が確認できるもの

※ 父母等については、問合せのうえ、別紙扶養申立書を記入し申請

※ 住民票につきましては、住基ネットを利用しますので添付不要です。

ただし、個別のケースによっては、提出をお願いする場合があります。

例 ①新規 ・妻(無職) ・子(小中高校生)を扶養の場合

・戸籍謄本、所得証明書(妻)、扶養証明書

例 ②新規 ・妻(パート) ・子(大学生等)を扶養の場合

・戸籍謄本、所得証明書(源泉徴収票)、労働条件通知書 又は 就労証明書(妻勤め先)、
学生証の写 又は 在学証明書(子)

例 ③新規 ・妻(勤め先を退職後無職)を扶養の場合

・戸籍謄本、喪失証明書(退職日のわかるもの)、離職票①②(写)、源泉徴収票(参考のため)、扶養証明書、
(雇用保険受給待機期間中の場合⇒雇用保険受給資格者証(両面)の写)

例 ④雇用保険受給終了後の場合

・戸籍謄本、雇用保険受給資格者証(両面)の写、
扶養証明書又は労働条件通知書(就労証明書)

例 ⑤妻 雇用形態変更 又は 収入減(フルタイム→パート等)の場合

・戸籍謄本、喪失証明書、雇用契約書(労働条件が変更したことがわかるもの)、源泉徴収票

例 ⑥新規 ・子(小中高校生) ・子(大学生等)を扶養の場合

・戸籍謄本、学生証の写 又は 在学証明書(大学生等)

例 ⑦新規 ・年金受給者の場合

・戸籍謄本、直近の年金通知書の写、所得証明書

- ・添付書類確認欄 戸籍謄本 学生証・在学証明書 所得証明書・源泉徴収票 労働条件通知書 又は 就労証明書
- 扶養証明書 離職票①②(写) 雇用保険受給資格者証(写)
- 年金通知書(写) 資格喪失証明書 その他()